

第二回 厚労省ベーチェット病研究班班会議（10/3）

プログラム

日時 令和2年10月3日（土）13:00～

13:00 開会の辞

研究代表者 岳野 光洋（日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ膠原病内科）

13:05 厚生労働省健康局難病対策課 ご挨拶

【指定演題 3 題】 13:20～14:30

座長: 岳野 光洋

1 ベーチェット病の疾患活動性の現状と評価指標

○桐野洋平（横浜市大 幹細胞免疫制御内科学）、平原理紗（横浜市大 幹細胞免疫制御内科学）、副島裕太郎（横浜市大 幹細胞免疫制御内科学）、飯塚友紀（横浜南共済病院 リウマチ膠原病内科）、東野俊洋（北里大学医学部 膠原病・感染内科学）、廣畑俊成（北里大学医学部 膠原病・感染内科学）、小林大介（新潟大 腎・膠原病内科）、藤枝雄一郎（北大、第二内科）、渥美達也（北大、第二内科）、竹内正樹（横浜市大 眼科）、水木信久（横浜市大 眼科）、岳野光洋（日本医大武蔵小杉病院 リウマチ膠原病内科）

2 全身性エリテマトーデスの疾患活動性の評価と問題点

○田中良哉（産業医科大学医学部第1内科学講座）

3 血管炎症候群の疾患活動性の評価と問題点

○永淵裕子（聖マリアンナ医大 リウマチ内科）、菊池弘敏（帝京大学 内科）、石橋宏之（愛知医大 血管外科）、萩野均（東京医大 心臓血管外科）、前田英明（日本大学 心臓血管外科）、岳野光洋（日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ膠原病内科）

【一般演題 セッション1】 14:40~15:20

座長:水木 信久 (横浜市立大学)

1-1 眼病変の疾患活動性と重症度分類の検討

○竹内正樹 (横浜市大眼科)、南場研一 (北海道大学眼科)、蕪城俊克 (自治医科大学附属さいたま医療センター眼科)、竹内大 (防衛医科大眼科)、後藤浩 (東京医科大眼科)、水木信久 (横浜市大眼科)

1-2 ペーチェット病の皮膚粘膜病変の病態と治療の有効性の評価

○中村晃一郎 (埼玉医科大学皮膚科)、岩田洋平 (藤田医科大学皮膚科)、浅井純 (京都府立医科大学皮膚科)、川上民裕 (東北医科薬科大学皮膚科)、常深祐一郎 (埼玉医科大学皮膚科)、金子史男 (総合南東北病院 皮膚免疫・アレルギー疾患研究所)

1-3 ペーチェット病に伴う関節炎の実態

○田中良哉 (産業医科大学第1内科学講座)、吉成紘子 (同左)、土橋浩章 (香川大学血液・免疫・呼吸器内科)、東野俊洋 (北里大学 膠原病・感染内科学)

1-4 小児ペーチェット病重症度基準作成の試み

○山口賢一 (聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center)、岩田直美 (あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科)、伊藤秀一 (横浜市立大学 発生生育小児医療学)

【一般演題 セッション2】 15:20~16:10

座長:廣畑 俊成 (帝京大学)

2-1 神経ペーチェット病レジストリの調査項目の検討

○廣畑俊成 (帝京大 内科、信原病院 リウマチ科)、菊地弘敏 (帝京大 内科)、沢田哲治 (東京医大 リウマチ膠原病内科)、河内泉 (新潟大 総合医学教育センター、新潟大 脳研 脳神経内科)

2-2 慢性進行型神経ペーチェット病寛解後のメトトレキサート減量・中止に関する検討

○菊地弘敏 (帝京大 内科)、廣畑俊成 (帝京大 内科、信原病院 リウマチ科)、沢田哲治 (東京医大 リウマチ膠原病内科)、河内泉 (新潟大 総合医学教育センター、新潟大 脳研 脳神経内科)

2-3 血管型ベーチェット病（特に大型血管）の疾患活動性および重症度の評価方法に関する検討

○菊地弘敏（帝京大 内科）、永渕裕子（聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）、前田英明（日本大学 心臓血管外科）、石橋宏之（愛知医科大学 血管外科）、荻野均（東京医科大学 心臓血管外科学）、岳野光洋（日本医科大学 リウマチ膠原病内科）

2-4 腸管ベーチェット病における重症度基準作成とレジストリ構築の試み -現状の課題を含めて-

○長沼 誠（関西医科大学内科学第三講座）、長堀正和（東京医科歯科大 臨床試験管理センター）、井上 詠（慶應義塾大 予防医療センター）、桐野洋平（横浜市立大 幹細胞免疫制御内科学）、田中良哉（産業医科大 第1内科学講座）、久松理一（杏林大 消化器内科学）

2-5 ベーチェット病と COVID-19

○櫻庭未多（日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ膠原病内科）、桑名正隆（日本医科大学リウマチ膠原病内科）、岳野光洋（日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ膠原病内科）

総合討論 16:10~16:30

事務連絡 16:30~16:40

閉会の辞 岳野 光洋（日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ膠原病内科学）